

第5回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日時 : 平成26年11月27日(木) 午後1時30分～3時30分
場所 : 奈良経済倶楽部 5階 大会議室
出席者 : 委員長 吉田 博宣
委員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり、山倉 拓夫
オブザーバー 文化庁記念物課 本間調査官
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》景観・自然環境課、森林整備課、森林技術センター、
奈良公園事務所、文化財保存課
《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課

議題 ①平成26年度保全再生事業の進捗状況について
②春日山原始林保全計画 保全再生の基本方針(案)について

議事要旨

○平成26年度保全再生事業の進捗状況について

- ・原始林に関する取り組みを周知できるようなパンフレットを配布すべき。
- ・モニタリングの実施時期については、植生の状況を勘案し適当な時期に実施する。
- ・ナラ枯れ被害は、予防措置とトラップの両輪で取り組みを継続することとした。
- ・ナギの数量調整は、樹勢を拡大している最先端から取り組みを始めるなど、戦略的な考え方も必要である。
- ・春日山原始林を未来へつなぐ会の運営については、本委員会との協力・連携を図っていくこととした。

○春日山原始林保全計画 保全再生の基本方針(案)について

- ・短期、中長期的な目標を定めながら基本方針を整理すれば理解しやすい。
- ・保全再生という用語の使い方については、取り組みの内容を踏まえ、保全と再生の用語の使い方を整理することとした。
- ・方針を例示する一つのツールとして、昭和初期の写真など、保全の目標像をわかりやすく提示する必要があると考える。写真や資料提供など、協力、連携を図りたい。

○まとめ

- ・モニタリングを含む実証実験の充実を継続して図ることとした。
- ・ナラ枯れ被害対策やナギの数量調整など、事業成果を含め、内容を充実することとした。
- ・ナギやシカ、春日山を取り巻く歴史的、文化的背景を踏まえながら、基本方針を再検討することとした。